

公有地（旧公有水面、字境等）の処分に関する陳情

（建設委員会付託）

受理番号 第 168 号

受理年月日 平成 25 年 8 月 30 日

付託年月日 平成 25 年 9 月 27 日

陳情者
.

陳情原文 かつて国が所管していた水路等の公有水面や、字境は現状を見る限り無管理といってもいいような状態にあります。松島周辺だけを見ても水路を埋め立て、あたかも私有地のごとく使用しているところもあります。殊に字境は厄介で、区界になっているところはどちら側が無断占拠したのか、また、なきがごとき状況のところもあれば、幅およそ 3 尺ぐらいをきちんと残してあるところもあります。道路法の 2 項道路扱いとして使用しているところは本来の使い方と言うべきですが、現況はばらばらが実態です。このままの状態では不法占拠を放置しておけば、公用財産としての取得時効が確実に成立することになります。

このような未管理と思える土地は区内全体では、かなりの面積が不法に占拠されているものと思われます。将来の活用、管理上の観点及び不法占拠者を許さない、という考えから、隣接の居住者に売却するなど、しかるべき方法で処分し、区財源の一部に繰り入れるとともに、固定資産税や都市計画税の課税対象にすることを提案します。

かかる用地は歴史的経緯もあるものと思われますので、解決方法などを講究し議会で条例等を議決し、必要によっては都や国などの上部機関に協議要請、速やかに解決を図ることを要望します。

つきましては、貴議会において本陳情を採択し、関係条例等を制定、後顧の憂いなきよう下記のとおり陳情するものであります。

記

- 1 公有地処分に関わる手続きの簡略化
- 2 土地評価基準の複数化（3～5例）による柔軟な対応
- 3 関係条例の制定、及び必要によっては上部機関等（国、都、葛飾区）への要請、協議